

平成30年3月7日
農地管理課

平成29年度福島県内一円モニタリング調査結果について

県は、市町村からの要望に基づき農業用ため池の水質は12箇所、底質は465箇所についてモニタリング調査を行いました。調査結果は以下のとおりです。

なお、既にため池放射性物質対策に取り組んでいるため池は、調査の対象外としています。

1 水質について

調査ため池数	飲料水基準 10Bq/L超のため池数	備考
12池	0池	・11池は検出限界以下

- 12池で調査を行い、飲料水基準1リットル当たり10ベクレルを超える放射性セシウムが検出されたため池はありませんでした。
- そのうち11池は、検出限界以下でした。(検出下限値1Bq/L)
- 放射性セシウムが検出された1池では、ろ過前は2ベクレルでしたが、ろ過後は検出限界以下でした。

2 底質について

調査ため池数	対策要件の 8,000Bq/kg超の ため池数	備考 (最大値)
465池	118池	・最大値は乾土55,000Bq/kg

- 465池で調査を行い、ため池放射性物質対策の要件である乾土8,000Bq/kgを超える放射性セシウム濃度が確認されたため池は118池でした。
- 465池の平均値は乾土6,700Bq/kgで、最大値は乾土55,000Bq/kgでした。
- 放射性セシウム濃度は年々減少傾向にあります。